

## 評価シート 様式

取組名	伝説が見える・伝わる、観光まちづくり —三好市東祖谷の平家落人伝説と伝統文化・茅葺き集落など多様な地域資源を、住民と来訪者がともに磨き高め合う新しい歴史観光まちづくり事業		
実施団体名	三好市東祖谷平家落人伝説観光まちづくり実行委員会	対象地域	三好市・東祖谷地区
(代表団体名)	株式会社 庵	推薦団体名	—

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果		④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	伝説が見える・伝わる、観光まちづくり —三好市東祖谷の平家落人伝説と伝統文化・茅葺き集落など多様な地域資源を、住民と来訪者がともに磨き高め合う新しい歴史観光まちづくり事業		
実施団体名	三好市東祖谷平家落人伝説観光まちづくり実行委員会	対象地域	三好市・東祖谷地区
(代表団体名)	株式会社 庵	推薦団体名	—

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	<p>地場の食材を活用した地域産業振興、残された美しい集落景観を活用した観光振興、建築技術を中心とする伝統技術の継承など複合的なテーマを組み合わせながら、若年者の新たな雇用の場を創造し地域活性化を図ろうとする取組である。萱葺きの古民家、伝統的な食文化など集落に現存していたものを魅力ある地域資源として捉え直し、基礎的条件の厳しい集落においても観光の活性化を図ろうとする取組は、同種の地域における活性化策の一つのモデルとなるものであり、全国に波及することが期待される。</p>
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)

基礎的条件の厳しい地域において、萱葺古民家、地域固有の食材等を貴重な観光資源と捉え、これらを活用して事業化する取組みは、若年者の新たな雇用創造などの点で地域活性化に資するものであると評価できる。今後は以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより本格展開に向けた継続的な展開が期待できるものである。

次年度以降については、事業の本格展開に向けて、担い手となる人材の育成、事業会社の設立に向けた体制構築が最大の課題であると考えられるため、それらの視点に立って各取組を行い、22年度以降の自立的展開を図るべきである。

具体的には、取組①については、観光資源の調査等はすでに20年度に一定の成果を得ているため、21年度は本格展開に向けて、担い手となる人材育成及び観光プログラムの旅行商品化に注力すべきである。取組②については、メニュー開発は20年度で一定の成果を得ているため、担い手となる人材育成及び料理供給体制づくりに注力すべきである。取組③については、萱葺き屋根の再生は本事業の核となる取組であり、本格展開に向けて所要の調査を行うべきである。取組④、⑤、⑥についても、地方の元気再生事業と連携しつつ自立的運営に向けて推進すべきである。また、地元の交通機関等とも連携のうえ、引き続きアクセスの問題も検討を深めるべきである。